

いのちの言の葉2015

富山県教育委員会平成27年度いのちの教育総合支援事業

「いのちの教室」

富山市立老田小学校4年
平成28年2月3日実施

【授業の概要】

- 1 助産師の仕事について
- 2 受精卵「いのちの始まり」について
- 3 胎児の成長や出産について
- 4 自分のいのちの大切さを感じる
「生きているだけで100点満点」
- 5 人形を抱いたり、質問したりする



【いのちの先生】

酒井 照枝先生

・助産師



①

(児童の感想)

世界に一つしかない命をぼくにくれてありがとう。いのちの授業を聞いて、思っていたよりも、もっともって命は大切なものなんだということがわかりました。これからもよろしくお願いします。僕も頑張ります。

(保護者より)

〇〇が「命」に向き合う時間をもてたこと、とてもうれしく思います。あなたの命がお父さん、お母さんにとって特別であるのと同時に、あなたの友達の命も特別で大切なものです。友達や先生との出会いも奇跡です。そのことを忘れず、一緒に過ごせる時間を大切にしてください。

あなたがあなたでいることがとても特別なことです。生まれてくれてありがとう。

②

(児童の感想)

今日は助産師の仕事の内容をたくさん知りました。そして、お父さんとお母さんがいてくれてありがとうという気持ちでいっぱいになりました。私を育ててくれてありがとうございます。私も一人で出来ることはいっしょうけんめいに頑張ります。

(保護者より)

産まれた時は、とても小さな赤ちゃんでした。でも、大きな病気やけがもせず、すくすく育ってくれてありがとう。これからも元気で、友達をたくさん作り、自分の夢ややりたいと思ったことにチャレンジしてって下さい。困ったことがあれば助けてあげるからね。がんばれ！